

平成 28 年度 自己評価結果公表シート

平成 29 年 5 月 26 日 光の園幼稚園

1、本園の教育目標

- ・ 生きる力の基礎を養うため、健やかな身体と豊かな心情を育てる
- ・ 「勇気と感動とやさしさと」をスローガンに、お話の世界に遊び、楽しく表現し、輝くような心と感性に満ちた創造力を育む
- ・ 身の回りのものごとに興味関心をもち、身体を通して、感じて 考えて 伝え合う表現する (平成 28 年度)

◎ 取り組みに際して念頭においていること

- ・ 五感を使って自然に親しむ
- ・ お話の世界を楽しむ
- ・ 自分の思いやイメージを自由に表現する素地を作る
- ・ 人とのかかわりを大切にして人への信頼感をもつ

2、28 年度重点的に取り組む目標や計画

- ①子どもたちが自分で工夫しながら遊びを広げられるような環境を考える（遊びの展開を見通して）
- ②体験することを大切にして感じたことや思ったことの素直な表現を受け止める
- ③一人ひとりが活かされる関わり方を考える
- ④一人ひとりとの関わりから子どもとの関わりの中で今大切にすべきことを見出す

3、評価項目および取組状況

| 評価項目 | 取り組み状況 |
|---|---|
| ①子どもたちが自分で工夫しながら遊びを広げられるような環境を考える（遊びの展開を見通して） | ひと・もの・ことに全力で触れ合おうとする中で子どもが立ち止まる瞬間をとらえ、思いや疑問に共感し、保育者が先回りしすぎずに子ども自身が試したり何度も繰り返して工夫できるような環境や関わりを模索する |
| ②体験することを大切にして感じたことや思ったことの素直な表現を受け止める | |
| ③一人ひとりが活かされる関わり方を考える | 一人ひとりとの丁寧な関わりはすべての基本になっているので引き続きいろいろな人の様々な視点を関わりの中で活かしていく |

| | |
|---------------------------------------|--|
| ④一人ひとりとの関わりから子どもとの関わりの中で今大切にすべきことを見出す | この数年で子どもたちの姿が変化してきたことを強く実感している。具体的な子どもの姿から今、幼稚園で経験すべきことは何か、見落としてはいけないことは何かを抽出していきたい。 |
|---------------------------------------|--|

4、28年度の目標や計画の総合的な評価結果

「感じて考えて伝え合う」の中でも「考える」ことに重点をおいて取り組んできた。教員は考えることの大切さについて意見を交わすことで子どもとの関わりやクラス活動で工夫し、子どもたちにも変化が見られているが、新たな問題点も見えてきた1年であった。子どもたちの姿の変化を「なんとなく違う」で済ませることなく、具体的な姿からその背景や幼稚園ですべきことを改めて探し出したい。

5、今後取り組むべき課題

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|----------------------|--|
| ①自分の思いを持つ(自制心) | 遊び・活動や人に対して子どもたちの思いがどこにあるのか、どこを向いているのか、を見極める。「やっちゃった」「○○くんもやってたから」という発言がこのところ増えてきているのでそういった意味での自分の枠組みを形作っていけるように一人ひとりとの関わり方とともにクラスでの話し合いの場面も活用しながら自分たちの経験として心に残っていつてくれるよう関わり方を考える。 |
| ②周りのもの・こと・ひとに主体的に関わる | 自分たちで遊びを展開していく楽しさを味わえるよう保育者の介入の度合いを見直す。また、展開できるよう手がかりになるものや素材、場や時間の提供などを考える。 |
| ③異年齢との関わりを持ち方を考える | 保育園の2歳児と幼稚園3,4,5歳児との関わりについて双方の教員間で話し合いを持ち、年齢ごとに関わり方を考えて実行していく。 |

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき点はなく、妥当であると認められる。